プロジェクト実験 P2 CPU の論理設計　　岡本 吉央
平成 19 年 1 月 9 日　　6 回目資料

# 1 プロジェクト実験発表会について

## 1.1 発表会

- 日時：2 月 6 日 (火) 13:35–
- 場所：A2-101
- 発表時間：30 分 (発表 20 分，質疑 10 分)
- 形式：PowerPoint 使用．
  4 班 (1 班 3 ~ 4 人) に分けて，各班から 1 人ずつ発表者を選出．当日は 4 人で発表．
  使用する PC は持参すること．服装は普段着でよい．

## 1.2 発表練習

- 1 回目：1 月 23 日 (火) 13:35–
- 2 回目：1 月 30 日 (火) 13:35–
- 場所：C-203 セミナー室 (1 回目，2 回目ともに)
- 注意 1：発表練習後は実験室にて実験を続ける
- 注意 2：練習のための練習にならないように．本番のつもりで行なわいないと練習の意味がない．

## 1.3 全体の構成

1. 実験の背景と目的
   - 実験の背景と目的
   - VHDL について (例えば，VHDL の特徴を挙げたり，半加算器を例にしてコードの説明をする)
2. 実験の流れ
   - 実験の大まかな流れの説明
   - 設計する CPU の仕様の説明
   - 設計する CPU 全体の構成，および，モジュールの説明
3. モジュールの設計と動作確認
   - モジュールを 1 つ例に挙げ，設計→シミュレーション→波形による動作確認，という流れを具体的に説明
4. **CPU** 全体の動作確認とまとめ
   - 演習 8 についてまとめる
   - 作成したプログラム，動作確認の結果を簡単に説明
   - 最後に，実験のまとめと残された課題に触れる

### 1.4 注意

1. 発表準備は班ごとに行なうが，全体で 1 つの報告としてまとまる必要があることも意識して，異なる班の人ともよく相談すること．例えば，内容の重複などを起こさないように．特に，次の発表者へ移る部分は，該当班同士でよく話し合うこと．

2. 各班の最初のページは，各班の内容のタイトルページとする．タイトルページには，タイトルと班員全員の名前を記し，代表発表者の名前の前に「○ 」を付ける．

3. 1 月 16 日の実験開始までに，メーリングリスト (cpu@algo.ics.tut.ac.jp) に，発表で使う (予定の) PowerPoint ファイルを一度提出すること．それにコメントするので，反映させて発表練習に臨むこと．

## 2 プレゼンテーション技法について

世の中には「プレゼンテーション技法」に関する様々な書籍，Web ページがある．それらを参照してもらいたい．例えば，

- http://www2.tokai.or.jp/kimijima/body/presentation.htm
- http://nova.scitec.kobe-u.ac.jp/~matsuda/review/PLAIN99.html

は私も参考にしている．こういうものを参考にして意識的に発表に臨む場合とそうでない場合には雲泥の差があるので，是非目を通してもらいたい．

さて，発表を苦痛であると思う人もいるかもしれないが，発表は楽しむものである．発表は楽しい．そういう私も発表が大好きで，学生の頃はネタもないのにいろんなセミナーや研究会で発表をしたものだった．発表資料 (スライド) を作るのも楽しいし，発表練習も楽しいし，発表本番も楽しい．発表本番前に来る緊張感と発表直後に訪れる極度のアドレナリン分泌．発表がよくできたにせよ，よくできなかったにせよ，これが本当に好きだ．発表を楽しいと感じられるようになれば，発表も上手になることだろう．

上の 2 つの Web ページにも書かれているが，ポインタ (指示棒，レーザポインタ) は出来る限り使わない方がよい．そして，PowerPoint の場合は，ポインタで指し示すべきところを次々と強調してみせることで全くポインタを使わずに発表を行なうことができる．そのような格好になるように努力してみよう．ただし，それを実現するためには相当準備を行なわなくてはならない．私もポインタを使う場合があるが，それはただ単に私の手抜きである．認めざるをえない．

もう 1 つ注意したいが，学生の間は発表に対する質問として，どのようなものを行なえばよいか，あまり気にしなくてよい．ただし，「敵意を剥き出しにした質問」と「知識をひけらかすだけの質問」は避けるべきである．理解できなかったことを素直に尋ねる手短な質問が好まれるだろう．

質問の答え方として，「はい」か「いいえ」で答えられるものには直ちに「はい」か「いいえ」と答え，その後で補足説明や理由を述べるとよい．「はい」か「いいえ」という情報を質問者は知りたいのだから，それを先に言うことが親切である．質問の内容が分からない場合は聞き返し，質問の答えが分からない場合は分からないと素直に述べることが親切である．はぐらかしたりすることは最もよくない．